

新宿御苑の7月のみどころ



千駄ヶ谷休憩所のムクゲ

下の池にもあります

夏らしい涼しげなその姿が特徴の新宿御苑の夏の代表花・ムクゲ。熱帯植物の代表花・ハイビスカスと同じアオイ科の植物で、朝に開き夕には閉じる一日花です。さんさんとふりそそぐ太陽に向かって、大きく花を開きます。

7月上旬



管理事務所そばのアガパンサス

千駄ヶ谷門ほか園内各所にあります

丸く球状に集まった小花は、まるで夜空にあがる花火のよう。すっと伸びた茎先に、涼感たっぷりに風に揺れる花は、さながら新宿御苑の夏の風物詩。花の蜜を楽しむアゲハチョウなども集まります。花色から別名・ムラサキクンシラン(紫君子蘭)。南アフリカ原産の多年草で、明治中期に渡来したといわれています。

7月上旬



フランス式整形庭園のアメリカフヨウ

フランス式整形庭園では大輪のアメリカフヨウがみごろをむかえます。花の大きさは直径25cmほどと、顔をま覆うほどの大きさ。高さ1mほどのがっちりしたその姿は、樹木のようにも見えますが、実は草花なのです。北アメリカ原産のアオイ科の宿根草で、クサフヨウともよばれています。

7月中旬



園内各所に響き渡るニイニイゼミ

7月も半ばを過ぎ、木々の緑も日ごとに鮮やかさを増してきた新宿御苑。本格的な夏の到来を知らせてくれるのが、ゼミの鳴き声です。「チーチー」「ジージー」と園内じゅうに響き渡る声の主はニイニイゼミ。ひと夏を謳歌する生命の響きに耳を傾け、息吹きあふれる新宿御苑の万緑の季節をお楽しみください。

7月中旬

エコハウスに温室植物展示コーナーを設けました

新宿御苑では、現在建て替え工事のため温室を閉館しています。

平成23年の完成までの閉館期間中も、温室で栽培している熱帯・亜熱帯の植物を楽しんでいただけるよう、イギリス風景式庭園のエコハウスに、温室植物の展示コーナーを設けました。

絶滅危惧植物やランのほか、旬の温室植物の展示を今後行ってゆく予定です。是非お立ち寄りください。



エコハウス開館時間
9:00~16:00



カジノキの葉とセタ

織姫・彦星の伝説や、願いごとを書いた短冊を笹に吊るす季節行事としてもおなじみのセタ。

古来の風習では、サトイモの葉に降りた朝露で墨をすり、カジノキの葉に願いごとを書いたそうです。



カジノキの葉

カジノキ(梶の木) クワ科

母と子の森など園内各所にあります

樹皮を和紙の原料にする「紙麻(かぞ)の木」が転じたのが名前の由来です。雌雄異株の落葉高木で、本州から沖縄にかけて分布します。



雌花(4月)



果実(9月)



雄花(4月)

入園のご案内

- 【開園時間】 9:00~16:00 (閉園は16:30)
- 【休園日】 毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)
- 【特別開園】 春:3月25日~4月24日、秋:11月1日~15日(期間中は休まず開園)
- 【入園料】 一般200円(150円)、小・中学生50円(25円) ()内は30名以上の団体割引

車椅子貸し出し:各入園門及び管理事務所貸し出しています(当日受付・無料)
補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)も一緒に入園できます

【交通案内】

- ◆新宿門へのアクセス
JR、京王、小田急「新宿」駅南口から徒歩10分
西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩15分
東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」駅(出口1)から徒歩5分
都営地下鉄新宿線「新宿三丁目」駅(出口C1、C5)から徒歩5分
- ◆大木戸門へのアクセス
東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」駅(出口2)から徒歩5分
- ◆千駄ヶ谷門へのアクセス
JR「千駄ヶ谷」駅から徒歩5分
都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅(出口A5)から徒歩5分

【駐車場】 利用時間 8:00~20:00

- ◆普通車 200台 3時間まで 500円 以後30分毎 100円
- ◆大型車 5台 3時間まで 2000円 以後30分毎 400円

新宿御苑はみなさまの庭園です。

以下のことはご遠慮ください。

- ・遊具の使用
- ・アルコール類の持込
- ・楽器の演奏
- ・動植物の採取と持込み
- ・火気の使用
- ・動物への給餌
- ・指定場所以外での喫煙
- ・管理区域及び立ち入り禁止の看板のある柵内への立ち入り

マナーを守って気持ちよくご利用くださるようご協力お願いします。

環境省 新宿御苑管理事務所
〒160-0014

東京都新宿区内藤町11

電話 03(3350)0151

FAX 03(3350)1372

<http://www.shinjukugyoen.go.jp/>